

Gerhard Piano Recital Oppitz

ゲルハルト・オピッツ ピアノ・リサイタル

シューベルトとリスト 詩的なものへの憧憬とその軌跡

© Concerto Winderstein

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第15番 ハ長調『レリーク』D.840(未完)

Schubert: Piano Sonata No.15 in C major, "Reliquie" D.840

シューベルト：さすらい人幻想曲 ハ長調 D.760

Schubert: Wanderer-Fantasie in C major, D.760

リスト：バラード 第2番 ロ短調

Liszt: Ballade No.2 in B minor

リスト：巡礼の年 第2年「イタリア」より ペトラルカの3つのソネット

Liszt: Sonetti di Petrarca from Années de pèlerinage, Deuxième année: Italie

リスト：バッハのカンタータ「泣き、嘆き、悲しみ、慄き」の主題による変奏曲

Liszt: Variations on Bach's "Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen"

シューベルトは無限の創造性を持った芸術家で、あまりに早くその人生の幕を閉じたために多くの作品が未完に終わり、後で続きを書くため残されたであろうスケッチは膨大な数に及びます。なかでも特に重要かつ謎に包まれたハ長調D.840のソナタは、悲嘆と希望、絶望と自信、内向と外向の間に揺れ動くシューベルトの内奥が表れています。第3楽章以降が未完ですが、第1、2楽章が圧倒的に美しく完成されているので、私は補筆をせずにこの2つの楽章を演奏します。一方で「さすらい人幻想曲」は人生の喜びや遊び心に溢れた傑作で、特に第2楽章では彼の詩的なセンスに脱帽させられます。リストはシューベルトを心から尊敬し、コンサートでこの幻想曲を頻繁に取り上げ、シューベルトの死から23年後にはピアノとオーケストラの編曲版も完成させました。

リストは広い心を持ち、古今の芸術家に対して敬意を抱いていました。ギリシャ神話のヘーローとレアンドロスの物語にインスパイアされたバラード第2番、イタリアの詩人ペトラルカへの畏敬から選ばれた3つのソネットからは文学への深い造詣が窺えます。「泣き、嘆き、悲しみ、慄き」の主題による変奏曲は、J.S. バッハのカンタータBWV12とミサ曲ロ短調の「イエス十字架につけられたまいし者」にあるモチーフが大胆に用いられ、「神のみわざはすべて善きことなり」のコーラルで私たちに慰めを与えます。リストの人生観に裏打ちされた創造性によって、彼の音楽は独自の世界観を纏い、詩的な想像の世界へと羽ばたいていくのです。 ——— ゲルハルト・オピッツ

東京オペラシティ コンサートホール

Friday 15th December 2023, 18:15 Open, 19:00 Start at Tokyo Opera City Concert Hall

全席指定(消費税込) | S 6,500円 / A 5,500円 / B 4,500円 / 学生 3,000円

※学生券:S~Bより選択可(全プレイガイドで取扱い)。公演当日は要学生証。

お問い合わせ・お申込み | **PCM パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831**

(平日 10:00~18:00) www.pacific-concert.co.jp/

プレイガイド | イープラス eplus.jp チケットぴあ pia.jp ローソンチケット l-tike.com

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

主催：パシフィック・コンサート・マネジメント 後援：ドイツ連邦共和国大使館 / 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

*就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。*やむを得ぬ事情により曲目など内容が変更になった場合でも、公演中止を除きチケットの払い戻しは致しかねます。

2023
12/15

金 19:00開演
(18:15開場)

9月11日(月) 一般発売

Gerhard Oppitz

Piano Recital

Oppitz

ゲルハルト・オピッツ [ピアノ] Gerhard Oppitz, Piano

ドイツ・ピアノ界の正統派を代表する演奏家。古典から現代まで幅広いレパートリーを持ち、ベートーヴェンとブラームスに関しては、世界最高の演奏者の一人として確固たる地位を確立している。音楽解釈における楽派の流れは、師のヴィルヘルム・ケンプに繋がりが、その源流はリストやベートーヴェンにまで直接遡る。

バイエルン州生まれ。パウル・バックに師事した後、ケンプと出会い教えるようになる。自身の解釈との著しい相似性に感服したケンプの遺志により、オピッツは後継者として音楽の伝統を引き継ぐこととなった。

1977年アルトゥール・ルービンシュタイン・コンクールで優勝し、一躍世界的に脚光を浴びる。翌年には、名門ドイツ・グラモフォンより最初のレコードをリリース。これまでに、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ミュンヘン・フィル等の著名オーケストラと、カルロ・マリア・ジュリーニ、ロリン・マゼール、リッカルド・ムーティ、ゾーピン・メータ、サー・コリン・デイヴィス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ホルスト・シュタイン、サー・ネヴィル・マリナー、ヘルベルト・ブロムシュテット、ドミトリー・キタエンコ、ガリー・ベルティニ等の指揮者と共演している。

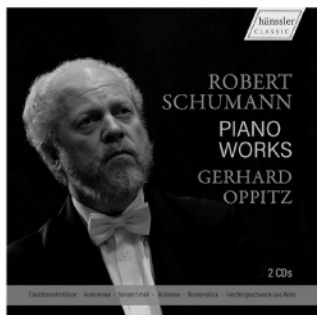
これまでにリリースしたCDは80枚を超え、BMG/RCAやヘンスラーからの、ブラームスのピアノ作品全集、ブラームスのピアノ協奏曲集(C.デイヴィス/バイエルン放送響)、ベートーヴェンのピアノ協奏曲集(ヤノフスキ/ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管)、ベートーヴェンのソナタ全集、シューベルトのピアノ作品集等が好評を得る。

日本では1994年、NHKテレビのベートーヴェン・ソナタの演奏およびレッスンが爆発的人気呼んだ。ベートーヴェン、シューベルト、シューマン&ブラームスの連続演奏会も好評を得る。親日家でもあり、日本で最も人気のあるピアニストの一人である。



交通 アクセス

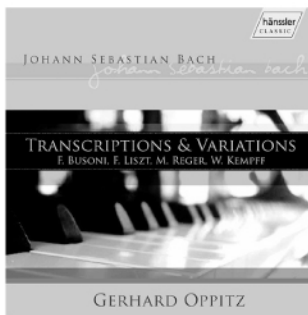
- 電車
 - 京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ) 初台駅東口 徒歩5分以内
 - 都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅A2出口 徒歩約17分
- バス
 - 新宿駅西口よりバス約10分
京王バス<宿41><宿45> 幡ヶ谷不動尊下車
 - 渋谷駅西口バスターミナルよりバス約20分
京王バス<渋63><渋66><渋61>
都営バス<渋66> 東京オペラシティ南下車
京王バス<渋64> 東京オペラシティ下車
- お車
 - 山手通りと甲州街道の交差する初台交差点
※有料駐車場有り(入口:山手通り沿い/水道道路沿いデニーズ横)



シューマン：ピアノ作品集 最新盤

ダーヴィト同盟舞曲集(18の性格的小品) Op.6
 フモレスケ Op.20
 ピアノ・ソナタ第3番 へ短調 Op.14
 アラベスク 八長調 Op.18
 花の曲 変ニ長調 Op.19
 ウィーンの謝内祭の道化芝居「幻想的情景」 Op.26
 ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)
 録音:2019年/イレーネザール(バイエルン)

●KCC-6617/8(2CD)
 輸入盤・日本語帯・解説付/¥3,500(税込)



J.S.バハ作品のトランスクリプション&変奏曲集

レーガー:バハの主題による変奏曲とフーガ Op.81
 リスト:カンタータ「泣き、嘆き、悲しみ、おののき」
 の主題による変奏曲
 リスト:バハの名による前奏曲とフーガ
 バッハ/リスト:幻想曲とフーガ ト短調 BWV542
 バッハ/ブゾーニ:トッカータとフーガ BWV565、
 シャコンヌ BWV1004、ほか

ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)
 録音:2002年/ライツターデル(ノイマルクト)

●98-479(CD) 直輸入盤/オープン価格